



文学部 人文学科

国際文化コース

FACULTY OF LITERATURE
DEPARTMENT OF HUMANITIES
INTERCULTURAL RELATIONS COURSE

学びの分野

英語コミュニケーション
現代文化 サブカルチャー

このコースがめざすこと

異文化理解に向け、自分自身を見つめ直す

ポーダーレスに情報が行き交うことで新たな文化的影響が生まれている現代では、国際的な視点で異文化を理解することが必要不可欠です。映画でも演劇でも、世界の多様なコンテンツの裏側にある価値観や表現の交差を探っていくけば、文化の多様なあり方の存在を実感で

きるでしょう。自分にとっての“当たり前”とは異なる価値観に驚き、違和感を覚えることこそ、新しい視点の獲得につながります。異文化理解と豊かな発想に向けて自分を見つめ直すチャンスにもなるのです。

3つのポイント

あらゆるテーマが
学びの対象になる

映画から音楽、演劇、ミュージカル、アニメ、漫画、広告、宗教行事まで、多彩な題材を扱いながら多角的に物事を捉え、価値観の多様性を認める意識を育てます。

あらゆる方向から
国内外の文化を分析

日本文化を外側から、または海外の文化をその内側から見て考察し、それぞれの歴史的経緯も学習。日本が海外から受けた影響や、日本が海外に与えた影響も学んでいきます。

国際的な活躍をめざし
英語力を重視

異文化理解を促進し、情報発信を広げるツールとしての英語力の向上を重視。実践的な英語力を高めるカリキュラムで海外留学もサポートします。



こんなキミに学んでほしい

文学、映画、音楽、絵画、アニメ、漫画などの幅広い文化を国際的な視点で考えたい人
さまざまな国のファッションや食文化など、人々の生活に根ざした文化を探究したい人
グローバル時代に活躍するための英語力、情報発信力、論理的文章力を鍛えたい人
多様化する現代社会が求める教育メソッドを備えた英語教員をめざしている人

ワンポイントアドバイス

映画、音楽、アニメゲーム、私たちの身のまわりには楽しいことがいっぱい。
それらをただ受動的に受け入れるのではなく、批判的に分析しながら、高度に情報化した現代文化のあり方を英語力を鍛えて探究しましょう。



国際文化コースの“学びのフィールド”



シンポジウム企画運営

学生が主体的に企画・運営し、研究発表や議論を行うシンポジウムを開催します。テーマは企画委員の学生たちが決め、テーマに関する独創的研究を発表するだけではなく、会場設営や議事進行まですべて学生たちで運営します。



島田 莉里
人文学科
国際文化コース
4年
群馬県
高崎女子高等学校出身

私の理論×実践
学びの成果を発揮する、
多彩な活躍の場が広がっています。

得意の英語を試したいと1年次にオンライン留学をしたのが学生生活を豊かにする端緒になりました。自分の意志を明確に伝える現地の学生に刺激され、私もそうありたいとコースの企画委員になり学年代表として活躍。シンポジウム運営のリーダーや論文集の編集長も務め、人文学科の企画した講演会では、外国人研究者や通訳者を講師に招き、司会進行を務めました。留学にも再チャレンジし、今度は十分に「対話」が成立して嬉しかったです。学びを実践する場が多彩があるので、意欲も見も増す一方です。



TOPIC

コースを挙げて英語力強化をバックアップ

国際文化コースでは、すべての学生が半年ごとにTOEICを受験し、英語力の向上を確認します。1年次から4年次まで選択できる「English Communicationプログラム」を展開。海外留学も推奨しており、短期・長期の各種留学プログラムを利用できます。プログラムごとに奨学金制度があり、要件を満たせば、自己負担を軽減することもできます。

担当教員

名前	職階	専門	研究内容
伊藤 淑子	教授	アメリカ文化	アメリカを中心に、英語圏の文化を研究しています。授業ではディズニーやジブリなど幅広い題材で物語を分析しています。
伏木 香織	教授	民族音楽学、文化人類学	東南アジア地域（インドネシア、マレーシアなど）の芸能（音楽、舞蹈、戯劇など）と社会、宗教とその組織、実践を研究。
星川 啓慈	教授	宗教哲学、言語言葉	言葉とアリティ（現実）の関係を考えています。
天木 勇樹	准教授	外国語教育、異文化理解教育、国際比較教育学、教育社会学	英語でのプレゼンテーションなど、学習者がアクティブにかかわる総合的な学習プログラムの開発を取り組んでいます。
星野 壮	准教授	宗教社会学、文化人類学	グローバル化が進む日本社会において、日本人に住む外国人たちの生活や文化、宗教について研究しています。
行森 まさみ	准教授	社会言語学、英語教育	「ことば」が社会や文化とどのように関わっているのかを研究。特に、国際的な共通語である英語の使用、英語を母語としない人たちの英語教育の問題に取り組んでいます。

シラバス

Taisho portal
<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

教員情報

知のナビゲーター
<https://www.tais.ac.jp/chinavi/>

@tais_nichibun
[@kokusai_bunka_taiso_uni](https://www.instagram.com/kokusai_bunka_taiso_uni/)